

年 組 名前：

問1

やまがたりょう た せんしゅ りくじょうだんし  
山県亮太選手は6日、陸上男子100メートルで

びょう にほんしんきろく じゆりつ  
9秒95の日本新記録を樹立しました。

やまがたせんしゅ へいきんじそくやくなん  
山県選手は平均時速約何キロで、

はし けいさん  
走ったことになるか、計算してください。

「時速約 \_\_\_\_\_ キロ」

問2

しんきろく が で こうじょうけん  
新記録が出たレースは、どのような好条件の

もと おこな か  
下で行われたのか、書いてください。

.....

.....

問3

にほんだんし はじ びょう かべ やぶ  
日本男子で初めて100メートル「10秒の壁」を破ったのは、

せんしゅ やまがたせんしゅ せんしゅ せんしゅ つづ にんめ びょうだい  
①選手で、山県選手は②選手、③選手に続いて4人目の9秒台となります。

せんしゅ だれ  
①～③の選手は誰ですか。

① 「 \_\_\_\_\_ 選手」

② 「 \_\_\_\_\_ 選手」

③ 「 \_\_\_\_\_ 選手」

陸上男子の山県亮太(28)は、セイコーIIが6日、鳥取市のヤマタスポーツパーク陸上競技場で行われた布勢スプリントの100メートルで、9秒95の日本新記録を樹立した。記録が公認される上限の追い風2・

陸上男子100メートル

0位の好条件の下、2019年に「サニブラウン・ハキーム(22)はタンブルウィードTCIIがマークした9秒97を0秒02短縮した。17年に桐生祥秀(25)は日本生命IIが初めて「10秒の壁」を破った日本男子で、サニブラウン、小池祐貴(26)は住友電工IIに続く4人目の9秒台。17、18年の10秒00が従来の自己ベストだった。

関連記事13、22面

(2021年6月7日付 山梨日日新聞1面)

山県9秒95日本新